

1 線の言葉は、次の文の中で、どの意味を表していますか。一つに○をつけ
ましょう。

かかりごとにお楽しみ会の計画をねった。

ねる

() 手でよくこね合わせる。

() 考えてよりよいものにする。

() のばしたりかためたりする。

() 体やわざなどをきたえる。

2 次の文では、どちらの漢字を使いますか。使うほうの漢字を に
書きましょう。

① 合・会

一時に駅で姉と

うことにした。

② 切・着

ハサミで、紙を

る。

新しいくつは、足にぴったり

った。

ようふくを

る。

③ 始・初

生まれて

めて、体験する。

えいがが

まった。

3 国語辞典で先に出てくる言葉からじゅんに1〜4の番号をつけましょう。

① () すいどう

② なかま ()

() すいえい

なつとう ()

() すいみん

ななめ ()

() すいめん

なまえ ()

③ () グラス

④ きやく ()

() くらし

ギヤグ ()

() クラス

ぎやく ()

() くらい

きく ()

4 線の言葉は、国語辞典には出ていませんでした。どういう言葉で引く
とよいですか。() に書きましょう。

① 山の空気は、すがすがしかった。

()

② こむぎこをこねてパンを作る。

()

③ 草原で、さわやかな朝をむかえた。

()

④ 先生にほめられて、てれくさかった。

()

2

漢字の音と訓

教科書
上28
下29
ページ

○めあて 漢字には、音読みと訓読みがあることが分かります。文の中で正しく読んだり書いたりする。

4

1 次の漢字の音読みと訓読みで、それぞれ漢字二字の言葉を作りましょう。

〔例〕○歌……カ (校歌) うた (歌声)

① 月……ガツ			
② 親……シン			
③ 紙……シ			
	つき	おや	かみ

2 読み方に気をつけて、次の——線の漢字の読みがなを()に書きましょう。音読みは、かたかなで、訓読みは、ひらがなで書きましょう。

① 新	ア 毎朝、新聞を読む。	()	()
	イ 新しいブラウスを着る。	()	しい
② 書	ア 図書かんで本を読む。	()	()
	イ ていねいに字を書く。	()	く
③ 後	ア 後ろからおいかける。	()	ろ
	イ 午後から天気がよくなる。	()	()
	ウ 後で、あそぼう。	()	()

3 次の——線の漢字の読みがなを()に書きましょう。音読みは、かたかなで、訓読みは、ひらがなで書きましょう。

① ア 金魚	()	② ア 足音	()
イ 魚市場	()	イ 音楽	()
ウ 魚つり	つり	ウ 音色	()
③ ア 大小	()	④ ア 馬小屋	()
イ 小鳥	()	イ 馬車	()
ウ 小さい	さい		

4 ——線の漢字は、音と訓のどちらがつかわれているでしょうか。

〔例〕○太陽の光がまぶしい。(訓)

- ① 点と点を 直線でむすぶ。()
- ② リボンは二メートルの長さがある。()
- ③ 農家のおじさんに話を聞く。()
- ④ されいな貝をひろった。()
- ⑤ 白い線を引く。()



1 [] にあてはまる「こそあど言葉」を書きましょう。

① 田中さんは、いったい

へ行ったの。

②

ところにねこがいるよ。

の方へ行ったよ。

にいるの。

③ 道を歩いていると

「駅をさがしているのですが、

ですか。」

と聞かれました。わたしは、前の方をさして、

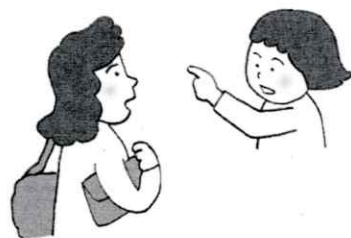
道のつきあたりです。」

と教えてあげました。

「 []

人は、きっと旅行に行くんだな。」

と、わたしは、思いました。



2

次の「こそあど言葉」は、どんな場合やときに使われますか。()に当てはまる記号を書きましょう。また、[]に当てはまる「こそあど言葉」を書きましょう。

場合	①	②	③	④
とき	()	()	()	()
⑧ ()	こう こんな	[] そっち	あんな あっち	どんな どっち
⑦ ()	こっち	そちら そっち	あちら あっち	どちら どっち
⑥ ()	ここ	そこ	[]	どこ
⑤ ()	この これ	その []	あの あれ	[] どれ

〈場合〉

ア 指ししめすものがはっきりしない場合

イ 話し手からも相手からも遠い場合

ウ 相手に近い場合

エ 話し手に近い場合

〈とき〉

オ 場所を指すとき

カ 方向を指すとき

キ 物やことがらを指すとき

ク 様子やほうこうなどを指すとき

1 次の漢字の左がわには、同じ部分（へん）が入ります。どんな部分が入るかを考えて、書きましょう。

(例)

目

・

反

(木)

①

会

・

氏

()

③

売

・

寺

()

②

系

・

士

()

()

2 上と下で、同じ部分（へんやつくり）のある漢字を線でつなぎましょう。

数	村	話	池	作
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・
オ	エ	ウ	イ	ア
林	放	泳	休	語

3 つぎの部分をもつ漢字を下の□からさがして、書きましょう。

① 「ミ」さんずい

② 「木」きへん

海・林・池	波・柱・校・湖
-------	---------

4 漢字の部分の名前を見て形を□に書きましょう。また、その部分をもつ漢字を()に書きましょう。

① (つちへん)



……土にかんけいがあります。

② (にんべん)



……人のすることや様子にかんけいがあります。

③ (おおがい)



……頭や首にかんけいがあります。

1 つぎの文で□の言葉を修飾している言葉に――を引きましょう。

〔例〕男の子がにこにこわらっている。

① 魚が気もちよさそうに およいでいる。

② この橋は、とてもきれいだ。

③* ありが、たくさんあつまってきた。

④ とおくから、あまいにおいがしてきた。

2 様子をくわしく表す言葉を入れた文を作りましょう。

〔例〕くじらが 気持ちよさそうに およいでいる。

① おじさんが はたらいている。

② 子どもたちが銀色の魚を 見ている。

③ 赤ちゃんが 泣いている。

3 後の〔 〕の中から言葉をえらんで、□に入れますよう。

〔例〕赤い 花がさく。

① 荷物を運ぶ。

② おばさんから 知らせがとどいた。

③ 洋服を着る。

〔うれしい やさしい 新しい 大きい 強い〕

4 つぎの文の□には、どんな言葉が入りますか。――線の言葉から考えましょう。

① 石が、さかをころころところがってきた。

② 石が、さかをころころところがってきた。

1 どちらの漢字を使うと意味が合いますか。()に○をつけましょう。

① {ア () 丸い} {イ () 円い} 皿。

② 本を友達に {ア () 帰} {イ () 返} す。

③ 子供の {ア () 葉} {イ () 齒} はきれいだ。

④ かいだんで {ア () 三} {イ () 三} { 階 } { 回 } へのぼる。

⑤ 高い山に {ア () 登} {イ () 上} る。

⑥ 友達に {ア () 親切} {イ () 新雪} にする。

⑦ 音楽会でリズムを {ア () 合} {イ () 会} { 会 } { 合 } わせる。

⑧ 夜が {ア () 開} {イ () 明} ける。

2 次の文の()に同じ読みで意味のちがうじゆく語を書きましょう。

① 「カジ」

ア 母は、毎日カジにおわれている。()
イ きんじよの家がカジにあった。()

② 「カイテン」

ア 町にスーパーマーケットがカイテンした。()
イ こまがくるくるとカイテンした。()

3 あてはまる漢字を書きましょう。

① かだんにユリかの花を植える。
□ □

② 野球の大かいで、二かい勝った。
□ □ □

③ 電ちゅうにちゅう意して歩こう。
□ □



1 線の部分の読みがなを書きましよう。

- ① 来^レ年、友^レだち や^レつて来^レる。 () ()
- ② いすが回^レ転、目^レが回^レる。 () () () ()
- ③ おかを 登^レって、 登^レ校中。 () () () ()
- ④ 口^レ笛を ふくと 遠^レくで 汽^レ笛鳴^レり。 () () () ()
- ⑤ 石^レの山から 化^レ石を 発^レ見。 () () () ()
- ⑥ まんがの作^レ者は 人^レ気者。 () () () ()

2

線の部分の読みがなを書き、それが 漢字の音か、訓かを書きましよう。

〔例〕 (こと) 《訓》
やさしい 言葉で 助言する。

- ① 高^レ校生^ノ 高^レとびだ。 () () 《 》
- ② みんなで写^レす記^レねん写^レ真 () () 《 》
- ③ 羊^レ毛^ガがふわふわして^レいる羊^ノさん。 () () 《 》
- ④ 宿^デで宿^ト題^ハはかどらず。 () () 《 》

3

つぎの漢字の音と訓を使って、文を作りましよう。

① 食

② 教

1 次のことわざは、昔から伝わる天気に関するものです。()に「晴れ」か「雨」かを書き入れましょう。

- ① 朝焼けは () ⑥ ツバメが高く飛ぶと ()
 ② 猫が顔を洗うと () ⑦ ツバメが低く飛ぶと ()
 ③ 遠くの高い山が見えれば () ⑧ 朝霧は ()
 ④ アリの行列を見たら () ⑨ 遠くの音が聞こえやすいと ()
 ⑤ タ焼けは () ⑩ 羽アリが多いと () が近い

2 反対の意味のことわざを線で結びましょう。

- ① 二度あることは三度ある ・ 二兎を追うものは一兎をも得ず
 ② 果報は寝て待て ・ 旅の恥はかき捨て
 ③ 善は急げ ・ 柳の下のどじょう
 ④ 一石二鳥 ・ せいては事をし損じる
 ⑤ 立つ鳥後をにごさず ・ まかぬ種は生えぬ

3

次のことわざと同じ意味のことわざを () に書き、その意味を調べましょう。

- ① 猿も木から落ちる ()

意味

- ② 石橋をたたいてわたる ()

意味

- ③ 目から鼻へ抜ける ()

意味

- ④ 馬の耳に念仏 ()

意味

ア 念には念を入れよ イ 猫に小判
 ウ 河童の川流れ エ 一を聞いて十を知る

1 つぎの言葉を使って、文を作りましょう。

〔例〕

うれしい

たんじょう日プレゼントをもらって、うれしくなりました。

たのしい

買ってもらったふくろには、たのしい絵がかいてあります。

あわてる

①

急ぐ

ゆっくりする

②

落ち着く

かなしい

③

さびしい

つかむ

④

つかみ合う

にぎる

⑤

にぎりしめる